

## 液状化・擁壁被害・地割れ

国の補助から外れた  
宅地被害に対して

## 市独自の上乘せ支援を！

2月21日に開会した熊本市議会。地震により被災した宅地への復旧助成事業が提案されています。24日の質疑

では、国の補助対象外となった宅地被害について、市独自の上乘せをするなど被災者の負担軽減に取り組むよう求めました。

### 国の補助対象外は5500件 50万円を超える部分に2/3の助成

熊本地震により被害を受けた宅地は市内で約7200件に上ると推計されています。そのうち、国の補助対象となる世帯は約1700件で、対象工事に住民負担はありません。一方で、要件があわずに対象外となる宅地被害は5500件ののぼり、県の基金を活用し、50万円を

超える工事費の2/3を補助する制度が創設される予定です。

質疑では、100万円を超える工事費の9/10の補助を行う仙台市の事例を紹介。仙台市と比べ、修復費用が高額になるほど自己負担が重くなることから、市独自の上乘せ支援制度を図っていくよう求めました。

【擁壁が壊れ修復費用が650万円かかると見積もりがきたAさんの場合】

仙台市の助成制度では	自己負担額	155万円	約100万円の差
熊本市の助成制度では	自己負担額	250万円	

※ 宅地被害の助成制度については、現在、県との最終調整段階です。まもなく相談窓口の開設や手続きも開始されますが、詳細が分かり次第、お知らせいたします。

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか やまべひろし  
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 1037  
2017年3月5日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホームページ：共産党 熊本市議団

## 産文会館解体・花畑広場整備のムダをただす裁判

### いよいよ「判決」です、傍聴にご参加を！

とき：3月8日(水)午後3時30分～

ところ：熊本地方裁判所 502号法廷

「産業文化会館」解体と「花畑広場」整備、市政のムダは許さないと闘ってきた裁判です。どうぞ、多数の傍聴を！

#### 【裁判所門前集会】

3月8日午後3時より

#### 【報告集会】

3月17日(金)午前10時30分

国際交流会館4F 第3会議室

\* どなたでも参加できます。

(控室から)  
我が家の「お雛さま」

上野 みえこ



みなさまは、お雛さまを飾られましたか？  
我が家では、不精になってしまい、段飾りはもう長く箱に入ったままです。でも、子どもが保育園で作ってきたお雛さまをさやかに飾っています。ひろってきた石にポスターカラーを塗って衣装を着せ、顔を書いた素朴でかわいらしいものです。冠・扇その他は、色紙です。20数年経ち、色紙の部分は、ほとんど取れてしまいました。子どもたちが、毎年保育園で作ってきたお雛さまは、たくさんありましたが、紙のもの、その他の工作によるもの、みんな壊れて、「石」のお雛さまだけが残りました。それでも、いよいよ修復しなければと思う状態です。  
「ひな祭り」は、女の子の成長を喜ぶ年中行事です。我が家でも、子どもの健やかな成長を喜ぶ行事として、みんなで祝いしてきました。  
今、子どもを取り巻く状況はたいへん厳しく、マスコミに子どもの事件が流れない日がないくらいです。すべての子どもたちが健康に、心豊かに育ってほしいと願わずにはいられません。  
そのために頑張りたいと思います。

補正予算締めくくり質疑

## 車いすを利用する児童・生徒が在籍する 小中学校へのエレベーター設置を！

2月議会の補正予算では、北部中学校へのエレベーター設置に向けた予算が提案されました。締めくくり質疑では、車いす利用の子どもが在籍する学校へ迅速かつ計画的にエレベーターの設置を進めることや災害時に避難所機能を発揮できるように学校施設のバリアフリー計画を策定するよう求めました。

現在熊本市は、構造上の課題などをクリアするとともに、車いすを利用する児童生徒が複数名在籍しており、かつ複数年利用する見込みがある学校に優先的にエレベーター設置を進めています。設置率も、2年前は、8校5.9%と政令市最低でしたが、現在は13校

9.5%となっています。

現在、車いすを使用している児童生徒が在籍している25校中エレベーターが設置されている学校は3校です。質疑では、エレベーターを必要とする学校には、迅速かつ計画的に設置するよう求めました。

【エレベーター設置状況】2013年度：力合西小 2015年度：託麻南小、龍田西小 2016年度：東町小、白川小、画図小 2017年度（予定）：北部中

## 学校施設のバリアフリー整備計画の策定を！

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、また熊本地震で多くの学校が避難所として活用されたことから、学校施設のバリアフリー計画

を策定するよう求めました。大西市長からは、「教育委員会や関係部局とともに検討していくことが必要」との答弁がありました。

## 特別措置法制定を求める意見書(案)などを提出しました

意見書は、議会から国に対して、さまざまな要望や意見を届ける文書です。今議会に日本共産党市議団が提案した意見書（計4件）は以下のとおりです。

### 【震災からの復旧・復興を進めるための特措法制定を求める意見書（案）】

被災者の立場に立った熊本地震の復興をすすめるための制度拡充と、震災復興にあたっては全額国庫負担で行うことができるよう「熊本地震復興のための特別措置法」の制定を求める。

### 【南スーダンに派遣されている自衛隊の即時撤退を求める意見書（案）】

①南スーダンに派遣されている自衛隊の即時撤退を行うこと、②派遣自衛隊に対し、「駆けつけ警護」「宿営地共同防護」の新任務を付与する閣議決定を撤回すること、③新任務付与の根拠となっている「安全保障関連法」を廃止すること、を求める。

### 【組織犯罪処罰法改定案を国会に提出しないよう求める意見書（案）】

安倍政権は共謀罪を導入する組織犯罪処罰法の改定を予定している。共謀罪の創設で、犯罪に関係ない国民の人権が侵される、監視社会への道が強まることは、否定できない。国民の思想や良心の自由、人権に重大にかかわる法案を提出しないよう求める。

### 【オスプレイの飛行禁止と配備撤回を求める意見書（案）】

昨年暮れ沖縄・名護市沖で墜落事故を起こしたオスプレイ。熊本県下の自治体もオスプレイの低空飛行訓練ルートに入っている。徹底した事故原因の究明と、飛行訓練の中止、配備の撤回を求める。